

グンゼがデータレイク構築にアシスト提供の 「AWS データレイク構築スタートアップ支援」と「Syncsort DMEExpress」を採用 ～データレイクに蓄積された情報を横断的に活用して DX を推進～

株式会社アシスト(本社:東京都千代田区、URL:<https://www.ashisuto.co.jp/>、以下:アシスト)は、グンゼ株式会社(本社:大阪府大阪市、URL:<https://www.gunze.co.jp/>、以下:グンゼ)が、アマゾン ウェブ サービス(以下、AWS)上でのデータレイクの活用に向けて、アシストが提供する支援サービス「AWS データレイク構築スタートアップ支援」、および超高速 ETL ツール「[Syncsort DMEExpress](#)」(開発元:米 Precisely(旧 Syncsort Incorporated)、以下:DMEExpress)を採用したことを発表します。

誰もが利用可能な全社データ活用基盤を確立し、課題解決に専念できる仕組みを整備

創業から 125 年、常に新しい分野へ挑戦してきたグンゼは、時代のニーズを先読みし、“こちよさ”にこだわった製品で世の中を支えています。受け継がれてきた創業の精神は 1 本の糸から医療分野まで広がり、この“こちよさ”の DNA をさらに多様な事業の創造・成長・拡大に向けて、グンゼでは、積極的な IT 活用に取り組んできました。しかし、従来の環境ではデータの入手や準備に手間がかかる、データを結合・整理するための作業負担が大きいといった課題の顕在化に加え、システムごとにデータを抽出する方式や形態が異なることから、標準的なデータ活用手順の確立が求められていました。そこで、データの加工・整理の負担を減らし、課題解決に専念できるような環境整備を目指して、新たな情報活用環境の構築に着手しました。

AWS 上のデータレイクに全てのデータを蓄積、BI ツールで素早く可視化

グンゼでは、データ分析の源泉となるシステムを意識せず、全てのデータを蓄積して横断的に活用できるデータレイクに着目し、容量の制約がないこと、コストパフォーマンス、BI ツールなど様々な周辺システムと連携できる汎用性の 3 点を評価して、AWS が提供する Amazon S3 を採用しました。BI ツールも AWS 上で稼働させることで、AWS 上のデータレイクに蓄積されたデータから、より長い期間からの傾向把握、明細データからの新たな知見を得ることができ、新しい分析をすぐに始められる環境の整備を目指します。

AWS 上でのデータレイクの初期構築に関しては、アシストが提供する支援サービス「AWS データレイク構築スタートアップ支援」を採用しました。グンゼグループのアウトソーシング事業を担う G&U システムサービス株式会社(本社:大阪府大阪市、URL:<https://www.guss.co.jp/>、以下:G&U システムサービス)では、グンゼから AWS 技術者の育成を期待されていた背景もあり、Amazon S3、AWS Glue(もしくは AWS Lake Formation)の設定/構築に関するトレーニングやスキルトランスファー型の技術支援サービスを活用し、データレイク構築に関するノウハウを短期間で習得することを目指しています。

また、基幹システムからのデータ収集と Amazon S3 へのデータ格納や、Amazon S3 に蓄積される生データの加工/整形に利用するためのデータ加工/データ連携基盤として、開発生産性の高さやファイル連携による運用面の利便性等から「DMEExpress」を採用しました。ゆくゆくは基幹システムの COBOL で実行している一部のバッチ処理基盤の置き換えにも「DMEExpress」の活用を予定しており、G&U システムサービスは DMEExpress の開発、運用も担当します。アシストは、豊富なノウハウを活かしたオンサイトによる開発支援や、専任のサポートメンバーによるサポートサービスの提供を通し、グンゼの情報活用を支援していきます。

ビジネス上の期待効果

グンゼでは、全社データ活用基盤の整備により、分析工程の無駄を省き、意思決定にかかる時間を短縮化し、各種施策の実行スピードが向上するものと期待しています。その結果として、売上向上や生産性向上など経営に直結する効果発揮を目指します。

■「AWS データレイク構築スタートアップ支援」について

AWS 上でのデータレイクは、Amazon S3 と AWS Glue (もしくは AWS Lake Formation) を使用して構築します。Amazon S3 では容量無制限にデータを蓄積することができますが、単にデータを蓄積するだけではどのようなデータが存在するか分からず、将来の要件に対して柔軟にデータを活用することができません。そのため、AWS Glue を使用してデータカタログを作成し、データレイクにどのようなデータ項目がどのような形式で蓄積されているかを把握できるようにします。「AWS データレイク構築スタートアップ支援」は、上記の AWS サービスの使い方や考え方、パフォーマンスやコストを意識した設定などを、Amazon Athena も交えてデモンストレーションを行いながらレクチャーし、データレイク構築におけるファーストステップを支援します。

URL: <https://www.ashisuto.co.jp/cloud/aws/>

■「Syncsort DMExpress」について

パフォーマンスに特化したソフトウェアを 50 年以上開発している Precisely 社の“最も賢い超高速 ETL”DMExpress は、データ結合やソート、マージ処理が伴うバッチ処理、またデータウェアハウス、データマート構築時のデータ結合処理などの ETL 処理開発に威力を発揮する ETL ツールです。独自の高速処理アルゴリズム、並列処理などにより、システム資源を最大限に有効活用してバッチ処理時間を劇的に短縮します。メインフレーム環境からのダウンサイジング時に課題となる高速性と安定性を確保し、コモディティなオープン環境でもメインフレームと同等以上のパフォーマンスを実現します。アシストは、通信、金融、公共業界をはじめ 3,900 ライセンス、410 社以上の導入実績を誇ります。

URL: <https://www.ashisuto.co.jp/dmexpress/>

■「AWS データレイク構築スタートアップ支援」に関するお問い合わせ

株式会社アシスト クラウド技術本部 担当: 佐伯

TEL: 03-5276-3652

URL: https://www.ashisuto.co.jp/pa/contact/aws_enquiry.html?utm_source=aws1

■「Syncsort DMExpress」に関するお問い合わせ

株式会社アシスト ビジネス推進本部 担当: 宇野

TEL: 03-5276-3653

URL: <https://www.ashisuto.co.jp/pa/contact/dmexpress.html>

■ニュースリリースに関するお問い合わせ

株式会社アシスト 広報担当: 田口

TEL: 03-5276-5850

URL: <https://www.ashisuto.co.jp/contact/press/>

※アマゾン ウェブ サービス、AWS、Amazon S3、AWS Glue、および AWS Lake Formation は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

※ニュースリリースに記載された製品／サービスの内容、価格、仕様、お問い合わせなどは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。